

平成29年4月13日

平成28年度の輸送実績（速報）

1. 輸送概況

平成28年度は、4月の熊本地震、6月から9月にかけての相次ぐ台風の接近・上陸などの影響により高速貨1,447本、専貨30本が運休となった（前年度は、高速貨1,095本、専貨17本が運休）。特に8月下旬から9月上旬にかけての台風10号は北海道地区に甚大な被害をもたらし、この影響で不通となっていた石勝線・根室線については、復旧までの間トラック・船舶による代行輸送を実施した。

コンテナは、自動車部品が特に下期、自動車販売台数増加に伴い増送となったほか、化学工業品が前年を上回った。また、トラックドライバー不足を背景に、飲料を中心とした食料工業品や積合せ貨物が堅調に推移した。

一方、農産品・青果物が上期の九州地区での玉葱の生育不良に加えて、下期の台風10号の影響を主因とした野菜類・馬鈴薯の減送、更には民間流通米輸送が低調に推移し、前年を大きく下回った。また、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより減送となった。その結果、コンテナ全体では前年比99.4%となった。

車扱は、石油が11月に関東地区で記録的に早い積雪を観測するなど、冬季の気温低下に伴い灯油を中心に増送となり、車扱全体では前年比103.3%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比100.5%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	平成28年度計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	21,994	22,116	99.4%
車扱	8,944	8,661	103.3%
合計	30,938	30,777	100.5%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	1,969	2,137	-168	92.1%
	化学工業品	2,104	2,089	15	100.7%
	化学薬品	1,467	1,476	-10	99.4%
	食料工業品	3,692	3,640	52	101.4%
	紙・パルプ	3,133	3,254	-121	96.3%
	他工業品	1,543	1,538	5	100.3%
	積合せ貨物	2,674	2,657	18	100.7%
	自動車部品	771	697	74	110.6%
	家電・情報機器	435	442	-6	98.6%
	エコ関連物資	460	445	15	103.4%
	その他	3,745	3,742	3	100.1%
	コンテナ計	21,994	22,116	-122	99.4%
車扱	石油	5,945	5,794	151	102.6%
	セメント・石灰石	1,444	1,368	75	105.5%
	車両	889	852	37	104.3%
	その他	667	646	21	103.2%
	車扱計	8,944	8,661	282	103.3%
合計		30,938	30,777	161	100.5%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）